

# 世界の水事情学ぶ

## 館林 水道週間で橋本さん講演



クイズ大会なども行われた「おいしい水の講演会」

「おいしい水の講演会」(館林市水道課主催)が市文化会館で十四日開かれ、「水と人間」をテーマにした活動を続ける同市代官町のジャーナリスト、橋本淳司さんが講演、市民ら百七十人が世界の水事情などについて学んだ。

橋本さんは、フランス・ピットルで住民らが水源地为大事に守っていることを話し、水問題を追い掛けるようになったことを紹介。水の配給を受けながら暮らす中国・山西省の人々など、国内外の水辺とそこに暮らす人々の水事情などについてスライドを交えて説明した。

講演の途中では「蛇口から一分間に流れる水の量は十二リットルより多いか」「蛇口からぼたぼたたれる水は一日で二十リットルより多いか」など会場全員が参加するクイズなども行った。

講演会は水道週間の記念行事として開催。橋本さんは同市が現在取り組む水道ビジョン策定検討委員会の副委員長も務めている。